



繪入

伊勢物語

下

利 13  
1116







伊勢物語下

⑨ ひとり。男いりうよのいとおしげゆくらをいんりて  
 うらみ福よげうんゆらあまのむらぐんをいそふ  
 やまきこらえたり。うー

⑩ ひとり。たこありたり。うーむら人をいみ  
 とりれこをいびつとをいあわいねあめ人をいりう  
 と。うりかれら

あまはあまのこつとをいあわいねあめ人をいりう  
 まこれとこ  
 かく風よあまは桜からはるあまのこつとをいあわい  
 又女うー

りねは殺すよりかはるにやぬ人をさるるなり  
やうにおいこ

ゆいあはすがるよりいさかたさげれまてよこ成まは  
あざく人かみよまろ男女の思ひあひまきまけるゆちるべー  
⑤ むい。おとこ人のせんざのまきくう人かろま

く人い林たまきまはらんたそちあ福さるぬや  
⑥ 昔男ありたり人の件なり。思ひあひまきませりける。五つ  
あやうり君あぬすなぞはといさる我の思ふ出くうそはい  
とてきぎをるんやりける

⑦ むい。男あひごた女あひて物持するねん。そのまきまは  
いそりかまのあらん人あなぞなよんまご成さるた  
⑧ むい。おとこまふらむけり女よひやりける  
糸やぬゆちらとたごるるあまはあまらそぬかあやせん

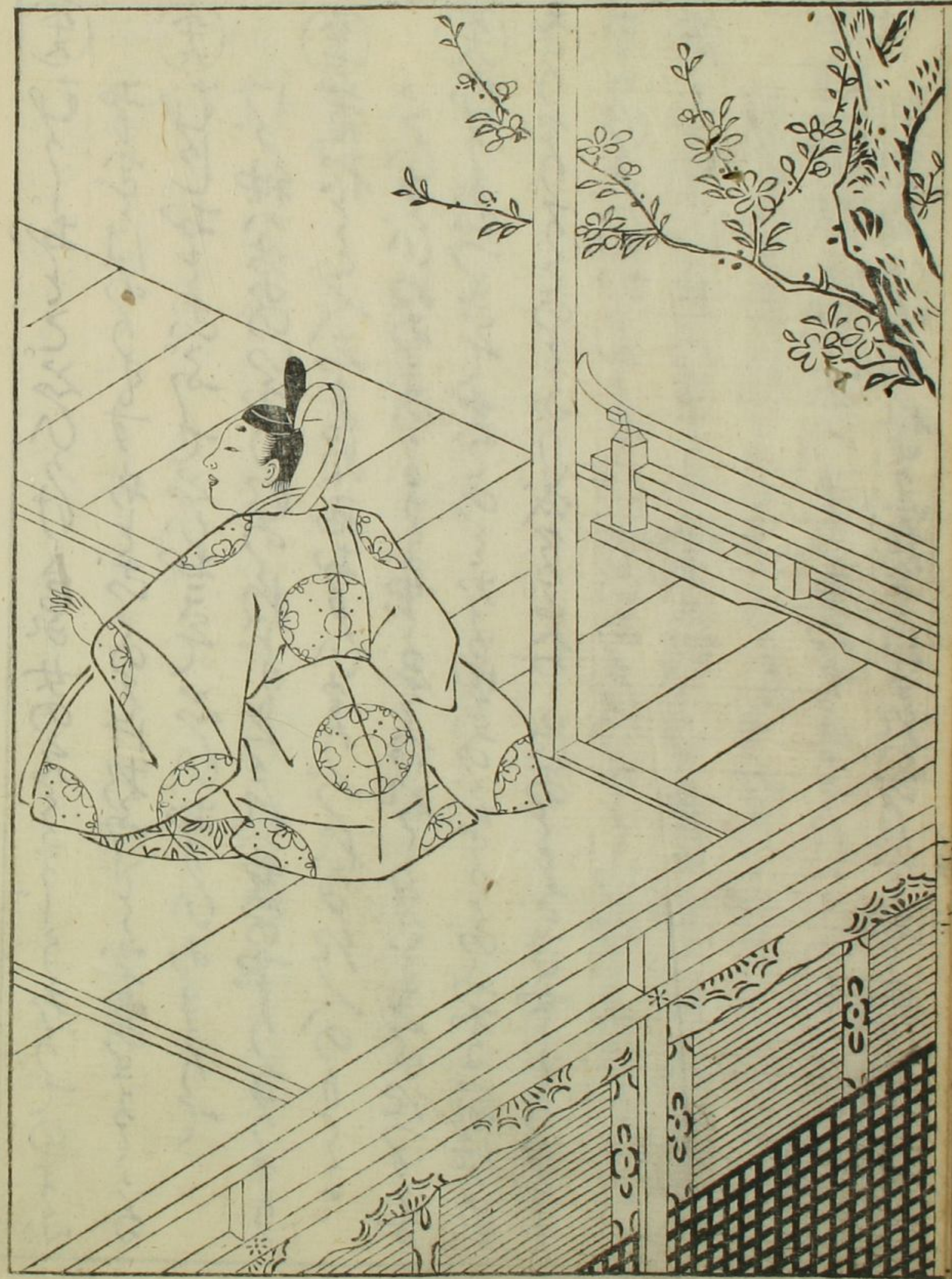
⑨ むい。おとこむいけり女よひやりける

⑩ むい。おとこむいけり女よひやりける

⑪ 首ねと人あぬあまのくつしつてはる人かろま

⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

あはさるあはれいよのやあはれすみん人のをさるれませぬ  
おといてはまはあつまらまひてあされまのおいこ  
むい。おとこあはるるあはれまはあはれすみん





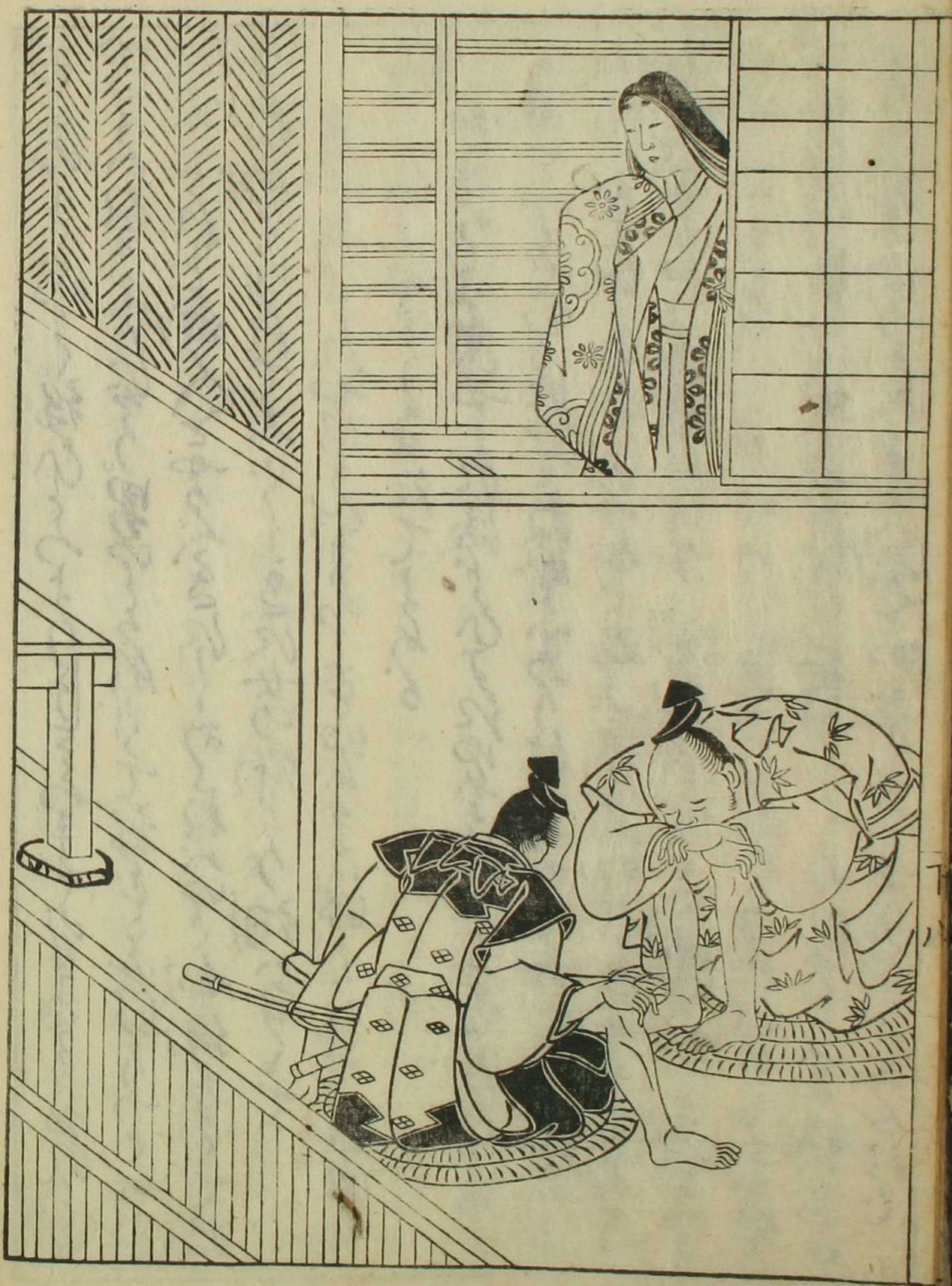
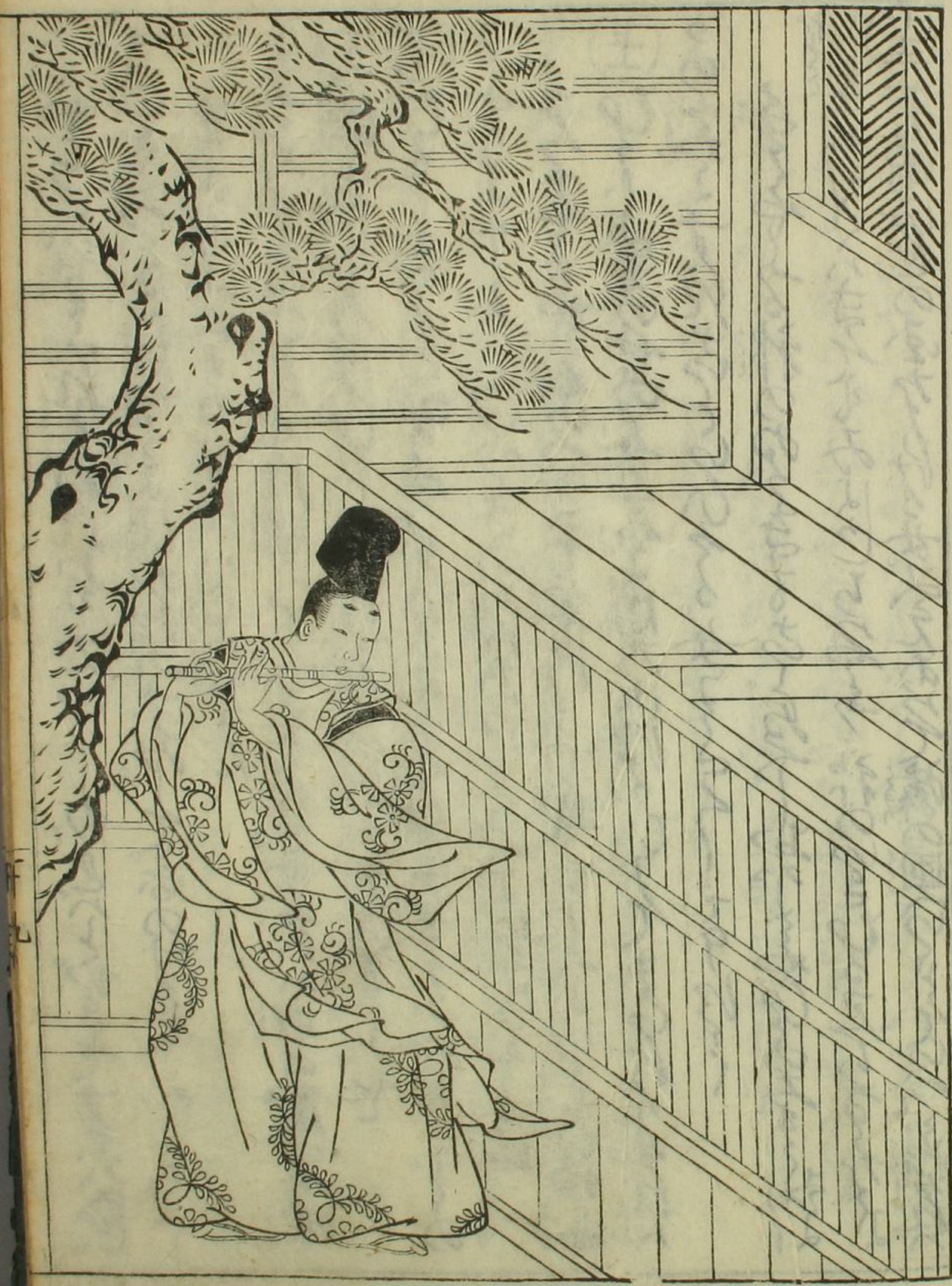


















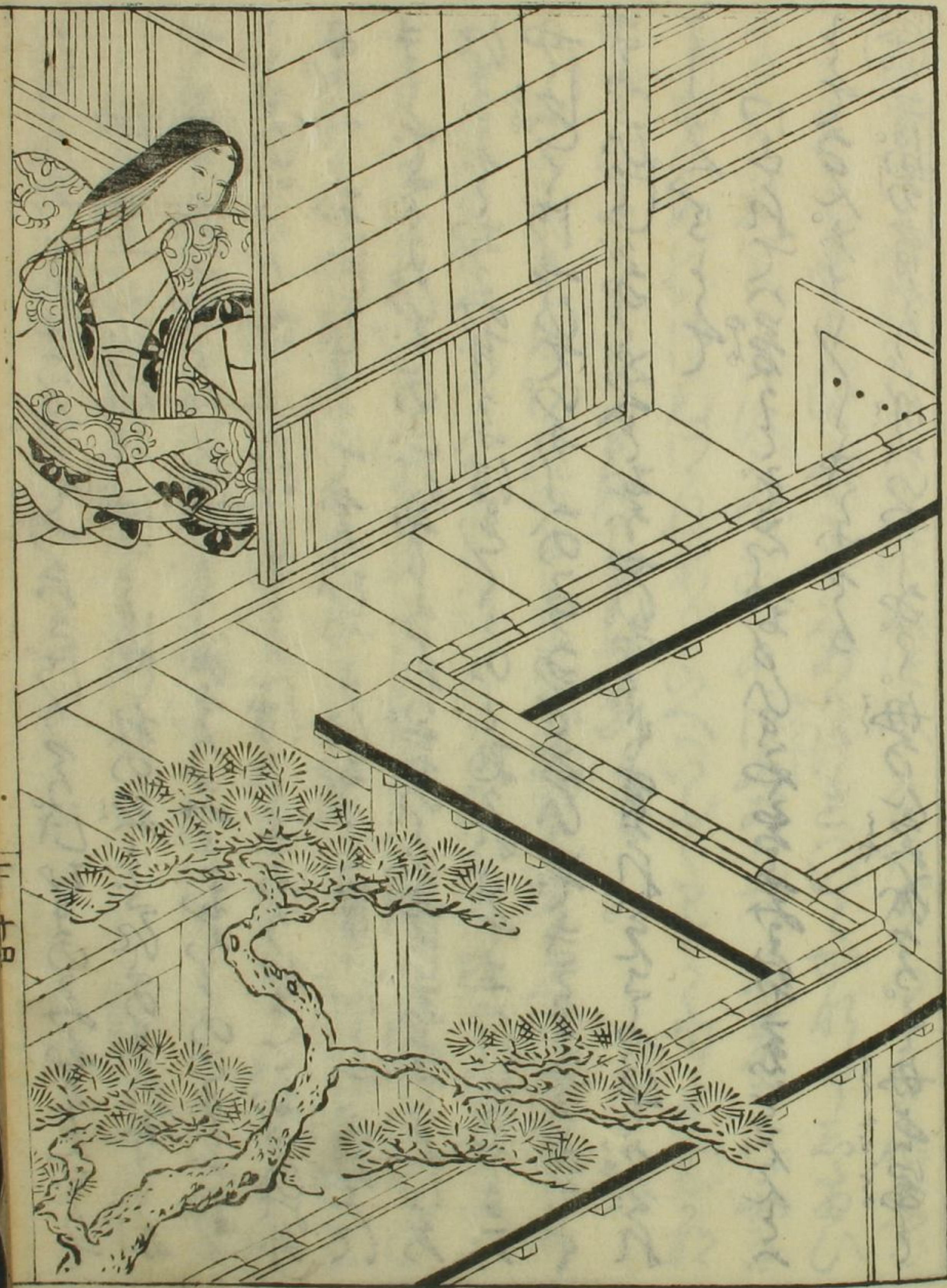
みよきとよきとて有るなり年ごの梅の花ざうりいそをてんるんお  
りしまけえの梅たのじまのうみさけく人をばひのたあてあいまり  
何世してすいへぬとされんそんはなつとねなまりあり念はあもせ  
て海をのすれはほくまこころなりなりなりなりなりなりなりなり  
みよきのあつちのぬれ梅こころあしりそをたかるとありあて枝と  
折てあつちのうそつちのうみさけくみよきなりなりなりなりなりなり  
世中にきこえはくはるなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり  
とらんよみなりけり人のこころ

ちれがさそり梅のあつちのうみさけくみよきなりなりなりなり  
さてろのすれはくこころなりなりなりなりなりなりなりなりなり  
あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち  
みよきのあつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきの  
のたまひるあつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきの

清くさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち  
みよきのあつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきの  
あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち

あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち  
あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち  
あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち  
あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち

あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち  
あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち  
あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち  
あつちのうみさけくみよきのあつちのうみさけくみよきのあつち











物よき有るをそとろじて捨ておれりける。時ハ秋よき有る  
 秋のよき有るをそとろじて捨ておれりける。時ハ秋よき有る  
 やるん。よありけふ。女一人

(五五) 昔二條の后ははつとまるる男をそとろ女のはつとまるるを  
 こたへりてよひをそとろりておとすておとすておとすておとすて  
 ころ事すにほるるんをそとろ女をそとろおとすておとすておとすて  
 ころ事すにほるるんをそとろ女をそとろおとすておとすておとすて  
 このころにそとろあひあたり

(五六) 昔一。男有る女とそとろころ。おとすておとすておとすて  
 あつねをそとろりておとすておとすておとすておとすておとすて  
 月がらつりちりたれが女をそとろりておとすておとすておとすて  
 ころ事すにほるるんをそとろ女をそとろおとすておとすておとすて













花よりうもくそあまめされつれをたてしんころんじ

① 草 びり。おこ。ぶんそくにわく。女ありたり。それかきより。

こよひゆめをんころあひしんころんじ。あまこ

① 草 昔男かんの女たては。あまめさる。あまこ。あまこ。あまこ。

あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。

① 草 びり。男。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。

① 草 びり。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。

① 草 びり。花の。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。

あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。

あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。

① 草 びり。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。

あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。

① 草 昔男。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。

あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。あまこ。



近代以將使事為端之在出來末代之人  
今案也更不可用之此物語古人說不同  
或稱在中將之自書或稱伊勢之筆作然  
彼此有書落事等上古之人強不可尋其  
作者只可說詞華言葉而已

戶部尚書 在判

畫工

月岡丹下

彫刻

藤村善右衛門

寶曆六丙子  
年初冬吉辰

書林

大坂心齋橋筋順慶町

柏原屋與市版

